授業科目名・形態	地域・在宅看護論Ⅰ　講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	石川セツ子・千葉美穂・・黒澤繭子・工藤智美	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバリング	N6-1001npmht				

【授業の主題】

人々の暮らしの多様化に伴い、健康課題も多雑化し、療養の場も病院のみならず施設や自宅へと拡大した。療養者を含めた地域で暮らす人々を対象と捉え、地域療養を支える諸制度を理解し、地域における様々な療養の場での基礎的な看護と技術を学ぶ。また、海外の在宅ケアの取り組みを学び、今後の地域・在宅看護の動向と発展について考える。

【到達目標】

1）地域療養を支える制度の概要、給付の仕組が理解でき説明できる。
2）訪問看護の目的、制度、法的責任などが説明できる。
3）訪問看護の開設・運営・対象者、サービスの利用までの流れが説明できる。
4）在宅看護における危機管理の原則と基本を理解する。
5）在宅における生活ケアと医療的ケア援助技術の概要を理解できる。
6）在宅での日常生活援助ならびに医療的ケアにおけるアセスメントや援助技術が実践できる。

【授業計画・内容】

第１回　地域療養を支える法・制度①（石川）
　　社会資源の活用　療養者の権利を擁護する制度と社会資源　医療保険制度
第２回　地域療養を支える法・制度②（石川）
　　介護保険制度　高齢者施策　障害者に関連する法律
第３回　地域療養を支える制度③（千葉）
　　難病法　子どもの在宅療養を支える制度と社会資源　生活保護制度　事例から学ぶ
第４回　在宅療養を支える訪問看護①（石川）
　　訪問看護の特徴　在宅ケアを支える訪問看護ステーション
第５回　在宅療養を支える訪問看護サービスの展開②（千葉美）
　　訪問看護における看護過程の特徴・実際、初回訪問　訪問看護記録
第６回　在宅療養を支える健康危機・災害対策（千葉美）
　　①在宅看護における健康危機・災害対策　②地域包括ケアシステムにおける健康危機・災害対策
　　③訪問看護師による健康危機・災害時対応　④災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理
第７回　在宅における生活ケア（講義）（千葉美）
　　食事（口腔ケア・嚥下訓練）　排泄支援　清潔ケア　移動　呼吸
第８回　在宅における生活ケア・医療的ケア①（石川）
　　服薬管理　在宅酸素療法　在宅人工呼吸療法　褥瘡予防
第９回　在宅経管栄養療法　在宅中心静脈栄養法　膀胱留置カテーテル　ストーマ　（千葉美）
第 10 回　地域・在宅看護の動向と今後の発展（石川）
　　海外の在宅ケア（イギリス、オランダ、アメリカ）
第 11 回　在宅における援助技術①グループワーク　（千葉美・石川）
第 12 回　在宅における援助技術②グループワーク・資料提出（千葉美・石川）
第 13 回　在宅における援助技術③グループワーク・発表　（千葉美・石川）
第 14 回　在宅における援助技術①（演習）（石川・千葉美・黒澤・工藤）
第 15 回　在宅における援助技術②（演習）（石川・千葉美・黒澤・工藤）

【授業実施方法】：①講義　②演習　③グループワーク　④発表等　⑤リアクションペーパー等

【事前・事後学習】：
・講義内容に関する事前学習を毎回２時間以上行うこと。・講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行うこと。

【主な関連する科目】：　地域・在宅看護論Ⅱ　地域・在宅看護実習Ⅰ・Ⅱ　地域・在宅看護概論

【教科書等】：　2025 年度版　地域・在宅看護論①②「地域療養を支えるケア」「地域療養を支える技術」
　　編者：臺　有桂　石田千絵　山下留理子　発行所：メディカ出版

【参考文献】：　令和７年版訪問看護業務の手引き等、その他必要に応じ授業で紹介する。

【成績評価方法】：１）筆記試験（70%）２）課題レポート・提出物・演習への取り組み（30%）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

在宅看護の実務経験を活かし、事例等を紹介しながら分かりやい授業内容にする。また、諸外国の在宅看護視察研修の体験をもとに、日本の仕組みとの違いについて紹介する。

【学生へのメッセージ】

1）在宅看護に関する法規、最近の社会情勢や国、県、市町村の施策の動きを知り、「地域・在宅療養支援」について意識を高めましょう。
2）社会状況の変化に伴い、時代の変化に対応でき看護について考え、将来的には、療養者本人が望む場所で療養できるように、尊厳ある１人の人間として接することができるようにしましょう。